

2027年度出題の傾向

国語

総合型:現代の国語・言語文化(古文・漢文を除く)
一般:現代の国語・言語文化(古文・漢文を除く)

・看護学部 ・人間学部 ・経営学部

●出題のねらい

出題のねらいは中学校高校で学んだ基礎学力が十分身についているかどうかを問うことにあります。具体的には読解問題と国語常識に関する問題が出題されます。読解問題は高校2・3年の教科書の標準レベルの文章で、難解な文章は出題されません。様々な文章の内容を理解する、様々な文章の内容を適切に解釈する等の言語活動における多様な資質・能力を評価する問題で、思考力・判断力・表現力等を問う問題です。また、国語常識を試す問題では、まぎらわしい漢字の識別をできるか、四字熟語・ことわざ・慣用表現など日常よく使われる言葉の意味が理解されているかなどが試されます。解答の形式は全問マークシート方式です。一般選抜には一部問題に記述式の解答があります。

受験生へのアドバイス

様々な文章に慣れ親しんでおいて欲しいと思います。教科書や問題集などで基本的な読解や四字熟語・漢字等国語常識にかかわる問題を数多くこなしておくことです。また、近代以降の文芸作品も出題されることがありますので、高校での言語文化の学習をしっかりと自分のモノにしておくことを大事にしてください。

数学

総合型:数学Ⅰ・数学A
一般:数学Ⅰ・数学A

・看護学部 ・人間学部 ・経営学部

●出題のねらい

「数学Ⅰ」「数学A」について、定期考査で出題される基本的な内容について、理解しているかどうかを問います。特に、計算等が正確に処理できるか、「2次関数」「三角比」については特に基本的な内容を理解できているかを問います。データの処理等については、基礎的な内容が理解できているかを問います。確率や図形の問題については、教科書の例題等を理解して解けるかを問います。解答の形式は全問マークシート方式です。

受験生へのアドバイス

教科書や教科書準拠の問題集を中心に学習しておきましょう。基本的な内容を中心に学習し、少し難易度の高い問題も基本的な学習内容から解答できるように練習しましょう。よく似た練習問題を繰り返し練習し知識を確実なものにしておきましょう。

◆試験教科は当日、試験会場で選択できます。

英語

総合型:英語コミュニケーションⅠ
一般:英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ

・看護学部 ・人間学部 ・経営学部

●出題のねらい

出題範囲は、一般選抜は「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、総合型選抜は「英語コミュニケーションⅠ」です。ある程度の長さの文章を読んで、設問に答える問題です。英語の基礎力を見るためのものですから、文章の内容が理解できれば大丈夫です。また基本的な語彙や日常会話などの問題もあります。会話文は必ず出題します。特に難しい問題はありません。解答の形式は全問マークシート方式です。

受験生へのアドバイス

教科書や問題集などで基本的な語彙、熟語そして、構文を反復学習することが大事です。長文の問題はメディアから出題しますので、普段から、インターネットで海外の新聞や雑誌を読んでおくことをお勧めします。会話文については、前後の話の流れを的確に把握する練習をしておいてください。

小論文

総合型:小論文
一般:小論文

・看護学部 ・人間学部 ・経営学部

●出題のねらい

小論文では、提示されたテーマや課題文の内容を正確に理解し、自分自身の考えを論理的に表現する力を問います。出題形式は、あるテーマについて自分の意見を述べる形式や、課題文を読み、その内容を踏まえて考えを述べる形式などがあります。解答は800字以内で、自分の意見を述べるだけでなく、「なぜそう考えるのか」という理由を明確にし、具体的な経験や事例を挙げながら説明することが大切です。身近な出来事や人との関わり、社会に関するテーマについて、自分なりの視点で考え、それを限られた字数の中で文章としてまとめる力が求められます。

受験生へのアドバイス

日頃から、身近な出来事や社会で起こっているさまざまな問題について、「自分はどう考えるか」「なぜそう考えるのか」を意識する習慣を身につけましょう。小論文を書く際は、まず自分の意見や結論を明確にし、その理由を述べ、具体的な経験や事例を挙げながら説明することで、説得力のある文章になります。また、限られた字数の中で、自分の考えを分かりやすくまとめる力も必要です。「結論→理由→具体例→まとめ」など、文章全体の構成を意識して書く練習をしておきましょう。